



避難所 トイレ チェックリスト <発災時>

段階別チェック項目	
第1段階	<ul style="list-style-type: none"> ○ 破損している等で使用できないトイレに「使用禁止」を貼る ○ 使用可能なトイレに携帯トイレを設置する ○ トイレ空間の安全を確認する(裏面 ※2 参照) ○ 使用済の携帯トイレを捨てる箱を設置する ○ アルコール手指消毒液を設置する ○ 災害用トイレの使い方等を書き、掲示する □ 既設トイレが和式の場合、簡易トイレ等を用いて洋式化する
第2段階	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給水、排水設備、下水道・浄化槽設備、電気設備の確認をする ○ 災害用トイレは人目につきやすい場所に配置する ○ 照明は室内と室外の両方に設置する ○ 災害用トイレの使用方法および一時保管場所・収集積所への運搬方法を周知する ○ トイレは施錠できるようにする ○ トイレまでの動線は男女ごとに分ける ○ 既設トイレ以外のトイレの数が増える場合、男女別を基本とし、女性用トイレの数を多くする □ トイレの数を増やすために、カーテン等で仕切りをしてトイレ用のスペースを確保する □ 要配慮者用のトイレは避難所に近い場所に設置する □ 要配慮者用のトイレは、介助者も一緒に入れる広さを確保する
第3段階	<ul style="list-style-type: none"> ○ トイレの管理(相談対応等)は男女共同で行う □ トイレトペーパー、サニタリーボックス等を設置する □ 介助は異性が行うことも想定する □ 要配慮者が使用する場合は建物内のトイレを優先させる ♥ トイレに1人で行かないようにする ♥ 防犯ブザー等の設置または配布





段階別チェック項目

第4段階	<ul style="list-style-type: none"> ○ トイレ掃除は定期的を実施し、その際は使い捨て手袋や作業着を着用する □ 防虫、除虫剤を設置する □ トイレ使用後の手洗い・手指消毒を周知する ♥ トイレ周辺に不審者がいたら管理者に伝える
第5段階	<ul style="list-style-type: none"> ○ トイレに行くことを促すための声かけを行う ○ トイレは寒くない(暑くない)ようにする □ 洋式便座の段差が高い場合には足踏み台を用意する □ 要配慮者や介助者も含め被災者に意見を求め、安全性や快適性を高めることに努める □ 必要な備品(トイレットペーパー、生理用品、サニタリーボックス、ハンドソープ、アルコール手指消毒液、清掃道具など)が不足していないか確認する □ 車いすの移動の際など、介助者以外の避難者にも手助けしてもらえよう援助の周知を行う □ トイレの混雑状況を把握し、必要に応じて災害用トイレを増設する

- 避難者全体に関するもの
- 要配慮者全体に関係するもの
- ♥ 女性や子どもに特化した内容



※2 安全確認の点検箇所と内容



安全確認の内容	○/×
① 天井材の破損(天井仕上げボードの剥落、ひび割れ、落下等)	
② 照明器具の変形等の異常	
③ 窓ガラス及び周辺の割れやガタつき	
④ 壁面(モルタルやタイル等)の剥落、欠損、ひび割れ、浮き等	
⑤ パーティションの変形やガタつき	
⑥ 給排水管やタンク、便器・便座等に破損等の異常	
⑦ トイレ間仕切り、パイプスペースに欠損、ひび割れ等	
⑧ その他	

NPO 法人日本トイレ研究所
<http://www.toilet.or.jp/>(メイン)
<http://www.toilet.or.jp/toilet-guide/>(災害用トイレガイド)

